

旅マエ

旅ナカ

旅アト

J T B名古屋事業部がご提供する

大規模パーティー MICEの運営について

【新型コロナウイルス感染防止対策】 旅行実施確認事項

J T B M I C E
Planning
&
Operation

株式会社 J T B
ツーリズム事業本部 名古屋事業部

旅行実施に向けた感染防止のための基本的な考え方

- (1) 新型コロナウイルス感染症の主な感染経路である接触感染と飛沫感染を回避するよう、参加者・添乗員相互間の動線や接触等を考慮すること。
- (2) 他者と共有する物品や直接手が触れる場所と頻度を特定し、接触機会を軽減する措置を講じること。
- (3) 感染リスクが高い「3つの密」な場所・状況を特定し、可能な限り事前に対策を講じる、または避けるような旅程管理を実行すること。
- (4) 一定の距離・間隔を確保する必要がある場合、可能な限り1 m以上を確保するように努めることとする。

感染防止のための行動（うつさない・うつらない）

- ① マスク着用で飛沫感染防止
- ② うがい・手洗い・消毒で接触感染防止
- ③ 密集を避ける、密集を作らない旅程管理
- ④ 声による伝達、案内を減らすための工夫・事前準備

主な旅行実施計画における感染対策準備

お客様とJTB間で打ち合わせの際に共有をさせていただく事項（一例）

【打合せ時の対策】

- ① 感染リスクを低減させるため、事前に打ち合わせ内容書面を提示し、可能な限り通信での打合せを進める。
- ② 対面で行う場合はマスクを着用し、2m目安の距離を確保する。

【リスク軽減】

- ① 旅程内の接触感染・飛沫感染のリスクを洗い出し、対応策を協議・確認する。

【お客様体調管理】

- ① 旅行参加までは体調管理と検温に努める。
- ② 感染予防対策としてマスク着用・うがいの励行。

【社員体調管理】

- ① 感染予防対策として常時マスク着用・手洗いうがいの励行。
- ② 手指消毒のための消毒液の携帯。
- ③ 毎朝の検温の励行、バランス良い食事や睡眠など健全な生活を送り、体調管理に努める。

【保健所・医療機関】

「移動時」「宿泊時」「食事・見学时」における各滞在地（見学地含む）での保健所・受入れ病院を確認する。

旅行中における感染対策の場面

詳細は営業担当者よりご説明させていただきます。

■ 主な場面

航空機

- ①座席配置
- ②搭乗対応

貸切バス

- ①座席配置
- ②乗車時対応
- ③車内飲食の制限
- ④車内換気・車種の指定

宿泊施設

- ①ホテルガイドライン
- ②部屋割り
- ③食事会場・提供スタイル
- ④入浴

見学個所

- ①入場者数・入場時間の調整
- ②手で触れる場面・リスクの洗い出し

■ 参加者への対応

- ①マスク（1日1枚以上が望ましい）
- ②携帯消毒液（1人1個が望ましい）
- ③ウェットティッシュ（除菌効果ありが望ましい）



ヘルスチェックシートの提出

体調不良時の緊急連絡先を周知して24時間体制での対応

■ 感染の疑いがある場合の対応

- ①保健所の指示のもと、濃厚接触者を隔離する。〈隔離部屋利用〉
- ②体調不良者用に別室を10室事前に確保。申告者を別室に隔離をし、再度検温を行う。
- ③症状に改善が見られない場合は「帰国者・接触者相談センター」への相談を促す

JTB名古屋事業部が提供する
**大規模パーティー
MICEの運営について**

【新型コロナウイルス感染防止対策】旅行実施確認事項

旅ナカ

JTB MICE
Planning & Operation

実施の振り返り、次回への改善事項の共有

■ 主な取組事項

参加者周知

事前計画が当日の参加者に周知され実行されていたか？

現場運営

3密発生の回避が出来ていたか？タイムロス等の障害が発生しなかったか？

費用対効果

コロナ対策に投じた経費が適正で効果があったものか？

方面選定

次回実施における旅行目的地としての適性アドバイス
→施設運営、医療体制等の受け入れ態勢の確認
(実施方面を都度変更される場合)



Next Door

JTB名古屋事業部では実施後の振り返りを
「NextDoor」という形で報告書として
お客様と共有する取り組みをしております

旅アト

JTB MICE
Planning & Operation